

事前評価チェックシート

計画の名称： 通学路等における交通安全対策の推進（防災・安全）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性	
①上位計画との整合性 1) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性	
②地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえて整備計画の目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
④事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
④事業の効果 2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤円滑な事業執行の環境 2) 全体事業費、要素事業費の額が適切である。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤円滑な事業執行の環境 3) 事業実施のための環境整備が図られている。	○

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和02年01月27日

計画の名称	通学路等における交通安全対策の推進（防災・安全）												
計画の期間	平成30年度～令和04年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	高松市												
計画の目標	通学路等において、歩道整備など安全対策を実施することで、安全安心で円滑な移動環境の構築を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	5,449	A	5,411	B	0	C	38	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0.69	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H29当初)	中間目標値 (R2末)	最終目標値 (R4末)
1	通学路合同点検に基づく安全対策を推進する 対象校区内における道路管理者がすべき通学路安全対策完了率 (対策完了箇所数/要対策箇所数)×100%	0%	25%	50%
2	ことடன்新駅の利用促進を図る ことடன்新駅利用者数を日当たり3,162人とする	0人	3162人	3162人

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—	流域水循環計画を含む	—	地域再生計画を含む	—
・新番丁、太田、栗林、木太南(H29現在)・新駅利用者数推計 3,162人/日												

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	街路	一般	高松市	直接	高松市	S街路	改築	（都）高松海岸線（玉藻工区）	現道拡幅、無電柱化 L=0.65km	高松市	■					83	—	
	平成31年度より「市街地における無電柱化推進による安全・安心なみちづくり（無電柱化推進計画支援）」へ移行																		
	A01-002	街路	一般	高松市	直接	高松市	S街路	改築	（都）兵庫町西通町線	現道拡幅 L=0.18km	高松市	■					29	—	
	「生活に密着した道路整備による快適なくらしづくり」から移行																		
	A01-003	街路	一般	高松市	直接	高松市	S街路	新設	（都）木太鬼無線（三条工区）	バイパス L=0.67km	高松市	■	■	■	■	■	3,344	—	
	「生活に密着した道路整備による快適なくらしづくり」から移行																		
	A01-004	街路	一般	高松市	直接	高松市	S街路	新設	（都）木太鬼無線（木太工区）	バイパス L=0.23km	高松市	■	■	■	■		513	—	
	「生活に密着した道路整備による快適なくらしづくり」から移行																		
	A01-005	街路	一般	高松市	直接	高松市	S街路	改築	（都）公園東門線	現道拡幅 L=0.20km	高松市	■	■	■	■	■	221	—	
	「生活に密着した道路整備による快適なくらしづくり」から移行																		
	A01-006	街路	一般	高松市	直接	高松市	S街路	改築	ことでん新駅（三条～太田駅間）駅前広場	駅前広場 A=0.58ha	高松市	■	■	■			1,221	—	
	「生活に密着した道路整備による快適なくらしづくり」から移行																		
										小計						5,411			

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況								
												H30	H31	R02	R03	R04											
一体的に実施することにより期待される効果																											
備考																											
											合計						5,411										

C 効果促進事業																				
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H30	H31	R02	R03	R04				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
道路事業	C01-001	街路	一般	高松市	直接	高松市	S街路	施設整備	(都) 高松海岸線（玉藻工区）	無電柱化（引込設備） N=1	高松市	■					7		—	
		(都) 高松海岸線（玉藻工区）（A01-001）と一体的に無電柱化に附帯する引込設備の整備を行うことで、効率的な施工が可能となり早期の効果発現が期待できる。																		
		平成31年度より「市街地における無電柱化推進による安全・安心なみちづくり（無電柱化推進計画支援）」へ移行																		
	C01-002	街路	一般	高松市	直接	高松市	S街路	施設整備	ことでん新駅（三条～太田駅間）駅前広場	二輪車駐車場 N=700台	高松市	■	■	■			31		—	
		ことでん新駅（三条～太田駅間）駅前広場（A01-006）と一体的に実施することにより、端末交通手段の利便性の向上及び交通結節拠点としての機能を強化し、利用促進を図る。																		
		「生活に密着した道路整備による快適な暮らしづくり」から移行																		
											小計						38			
											合計						38			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H30	H31	R02	R03	
配分額 (a)	296	668	464	93	
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	296	668	464	93	
前年度からの繰越額 (d)	96	116	376	352	
支払済額 (e)	276	408	488	424	
翌年度繰越額 (f)	116	376	352	21	
うち未契約繰越額(g)	9	302	141	14	
不用額 (h = c+d- e- f)	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	2.29	38.52	16.78	3.14	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由		埋蔵文化財調査に不測の日 時を要したため、工事着手 が当初の予定より遅れ、繰 越が生じた。	用地取得の交渉に不測の日 時を要したため、契約が当 初の予定より遅れ、繰越が 生じた。		